

なった。

・予習的課題の授業にどのように位置つけるか。

- ㊦ 教科、教材の特質に応じた指導過程の研究がよくなるようになった。
- ㊧ 思考過程に即した教材の配列と提示のし方がよくなった。
- ㊨ 学習方法訓練の組織化と系統化と、基礎学習方法の訓練と一般学習方法訓練がよくなるようになった。
- ㊩ 指導過程におけるたしかめとノートの指導がよくなった。
- ㊪ 個別指導がよく行なわれるようになり、授業においても自由に発言できるようになった。

### ⑬ 大沼郡会津高田町立永井野小学校

ア. 校長 長嶺 寿美

イ. 主題 「主体的学習態度を育てるための指導過程をどうすすめたらよいか」

ウ. 成果

- ㊦ 家庭学習に対するとりくみ方が変わってきた。  
児童と教師の話し合いによって予習課題の引き出しができるようになってきたし、それが家庭学習への意欲づけとなってあらわれている。
- ㊧ 朝自習（予習課題のたしかめと授業への準備）によって児童の理解度のようすをしり、指導の見通しをつけることができるようになった。
- ㊨ 児童の発表力がむらなくなりつつあった。  
発表しようとする要点をまとめ、責任ある態度でのぞんでいる。
- ㊩ 発問のくふうによって、ひとりひとりの児童をたいていにつける教師の指導態度ができてきた。  
学習への喜びと意欲づけがなされている。
- ㊪ 思考の場、たしかめの場、練習の場としてのノート作りが、学習したことを常に主体的にたしかめながら学習できるようになり、教師の課題に対してむらなくとっくんで書くようになってきた。
- ㊫ 学習の場だけでなく日常生活全般についても、いままでも以上の自主的・協力的な面がうかがわれ、好ましい姿として喜んでいる。

### ⑭ いわき市立湯本第一小学校

ア. 校長 高木 百枝

イ. 主題 「教科の本質に基づき、児童の主体的学習態度を確立させるために、授業の体質をどう改善したらよいか」小主題「学習訓練としたしかめの充実、ひとり立ちできる言語学習（特殊学級）」さらに主体的な児童の具体像として、

「。めあてをもって学習する子ども、。よろこんで学習する子ども、。よく聞きよく話し、よく考える子ども、。きまりを守って学習する子ども、。ねばり強く学習する子ども」

ウ. 成果 基本的な実践の態度として

- ㊦ 正常な学校経営形態の中で、研究実践の深まりを見た。
- ㊧ 正常な勤務形態、通常の予算経費の中で研究実践

をどう進めるかについて研究を深めた。

- ・主体的な学習態度としては、学習の意味を自覚させその目的を達成するために、意欲的に、積極的に立ち向かい自己を洗練していく態度を養うよう校内の研究組織をたかめて実践にあたった。
- ・校内の学習環境の整備とともに児童は教師の発問に対して極めて活発になり、学習内容についても既知を土台として未知を探究するのぞましい姿になってきた。教師の授業研究も焦点をきめ計画的に実践されている。

### ⑮ 双葉郡双葉町立双葉中学校

ア. 校長 矢沢 一

イ. 研究主題 「学習意欲を高めるための指導法」

ウ. 成果

生徒の実態を分析して、研究主題にせまるために、教材の構造化と授業の組織化について研究を進めた。

㊦ 教材の構造化についての共通理解を深め、教材の本質と教材研究の深化を図り、授業の組織化を授業分析による授業研究をとおして進めつつある。

㊧ 生徒指導資料ならびに実態は握と変容調査の基礎資料のために、各種調査（新成就値の算出等）により個人指導の具体化をはかるようにつとめている。（指導記録簿を改正して）

㊨ 効果的な学習指導法をテーマとする進路指導については、全体構造の再確認をして、年間指導計画を改訂し、実質的な時数の確保とともに、授業研究を進め、進学・就職指導等の適正を図り、就職生会報等により卒業後の定着補導を行なっている。

㊩ 地域社会（PTA）の協力態勢の強化をはかり、改善の方向がみいだされている。

### ⑯ 相馬郡小高町立金房小学校

ア. 校長 牛渡 治

イ. 研究主題 「既知事項をもとにして次の段階へと考えさせるにはどう指導したらよいか」

ウ. 成果

㊦ この学習をさせるために、ぜひ必要な既知事項は何かを教師が確実につかみ、その徹底の上に次の学習を組みたて指導することによって、児童は学習の発展を知り、自分の力で学習しようとする意欲があらわれてきている。

㊧ 特に前時の学習と本時の学習との関連、これにもなう家庭学習と授業との結びつきをはかり、指導することによって、児童は受け身の学習より能動的な学習への芽えがあらわれてきた。

㊨ 教科の本質を考え、教材研究、指導技術の改善、児童のつまづきの原因等を中心に授業研究を実施してきたことにより、教師は教科毎に教科の精選のしかた、児童の主体的活動のさせかた等を会得し、日常指導の効率化への自信を得た。

㊩ 学習方法の訓練を重視して指導したことにより、児童はようやく家庭や学校における個人学習のしかたや授業時における発表、診断、相互学習の方法等を理解しはじめ、学習活動がいきいきしてきた。